



1

○自己紹介

- ・平石 雅彦 (ひらいし まさひこ)
- ・中学校 保健体育 教諭として
24年勤務
- ・広島県立福山少年自然の家に
主査として3年勤務
- ・国立江田島青少年交流の家に
次長として勤務 (2年目)

2

どのように声をかけますか？

3

施設職員による木組み・焚き付けの安全指導後、児童が指示と全く異なる方法で着火しようとしていました。児童にどのような声かけをしますか？

4

あなたならどう声をかけますか？
(声かけの内容・具体的な指導方法 等)

A B C D E

5

指導者の役割

6

ファシリテーターとは？

促進者を意味する言葉である。会議などの進行を司る役割などもこれに含まれる。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(2019/10/21 16:14 UTC 版)

教育におけるファシリテーターとは？

教える教師がいて教わる生徒がいるという従来のイメージではなく、「聞き出す力」によって生徒それぞれの意見を平等に取り上げていき、そのひとつひとつの意見をまとめることで、教室全体のチームワークを高めていく役割を担うことをいう。わかりやすく言えば「先生に言われたことだから、従おう」ではなく「クラスみんなで話し合っただけだから、みんなで実践していこう」という雰囲気にしていくのが、教育ファシリテーターの役割である。

出典：実用日本語表現辞典

7

指導者の役割 SL理論 SITUATIONAL LEADERSHIP

多
支援型行動

少

少 指示型行動 多

成熟 集団の発達レベル 途上

SL理論の提唱者は、ポール・ハーシー (Paul Hersey) とケネス・ブランチャード (Kenneth H Blanchard)

8

指導者の役割

促進 (促進者)	集団の自立 アクティブラーナー化	即効性 リスク管理	指示・命令 (指導者)
	促進技術 (聞き出す話術等) の習得必要	指示まち 依存・反発	
	ファシリテーター (促進者)		
	・ルール設定・目標設定		
	・振り返りポイント		

S4委任型 S3支援型 S2コーチ型 S1指示型

成熟 ← 集団の発達レベル → 途上

9

あなたならどう声をかけますか？

(声かけの内容・具体的な指導方法 等)

施設職員が指導されたことを、実演して、見せる **指示型** 細かく指示を出す

施設職員が指導されたことを再度、指示する **指示型** 細かく指示を出す

施設職員に指導されたことを振り返らせながら指示する **コーチ型** 説明し疑問に答える

施設職員の方にどうすればいいと言われた？ (振り返らせながら、自分でやらせる) **コーチ型** 説明し疑問に答える

施設職員に指導されたことを振り返らせながら、自分でやらせる **支援型** 任せて支援する

なぜ、うまくいかなかったのかよく考えて、もう1度チャレンジしてごらん **委任型** 権限を譲渡し任せる

10

「語る」「語らせる」「語り合わせる」と、このようなやりとりが変わります。

語る！
子供たちが自分の思いや考えを重畳するように問いかける

語らせる！
子供たちの思いや考えを引き出し、受け止めながら聞く

語り合わせる！
話し合いをさせる前後に、気持ちを促すことで、話し合いをより深める手掛かりを示す

出典：生徒指導・進路指導研究センター「『語る』『語らせる』『語り合わせる』で変える！キャリア教育」

11

× 日々接する中で、こんな対話をしていますか？

先生方や大人の思いを押し付け、指示的に話す **語る？**

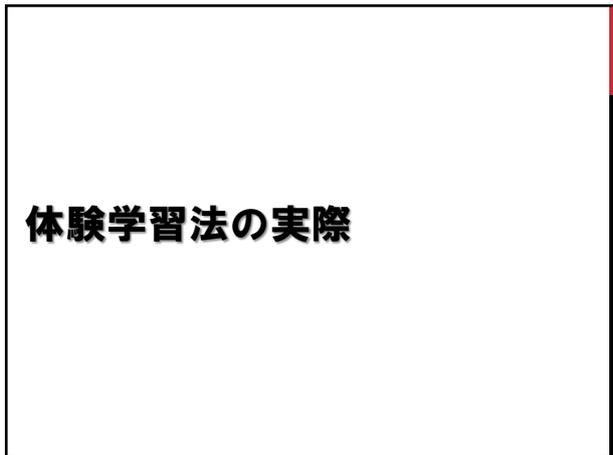
表面的なことを話させるだけに終わる **語らせる？**

明の言っかけも与えずにただ話し合いをさせる **語り合わせる？**

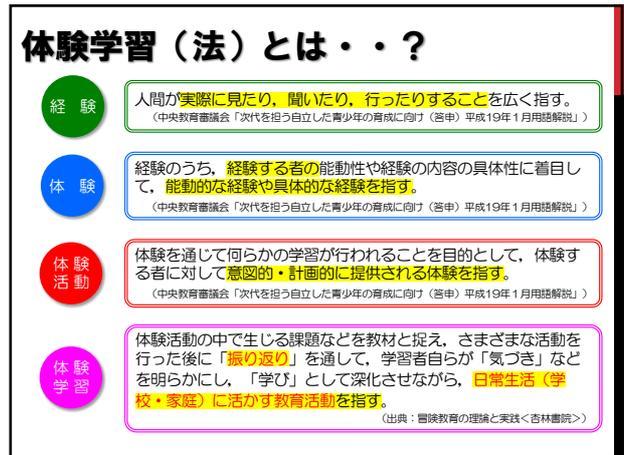
大切なことは、日常生活で子供たちの「気づき」を促し、主体的に考えさせ、子供たちの行動や意識の変容につなげることを意識して働きかけることです

出典：生徒指導・進路指導研究センター「『語る』『語らせる』『語り合わせる』で変える！キャリア教育」
：「令和4年度キャリア教育指導者養成研修 (第2回) 三川俊樹講師資料」

12



13



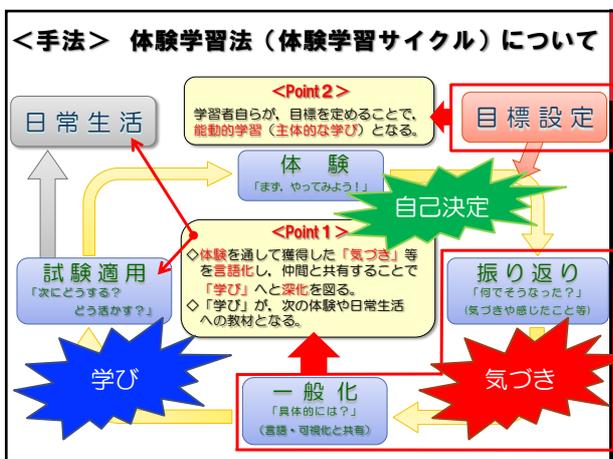
14



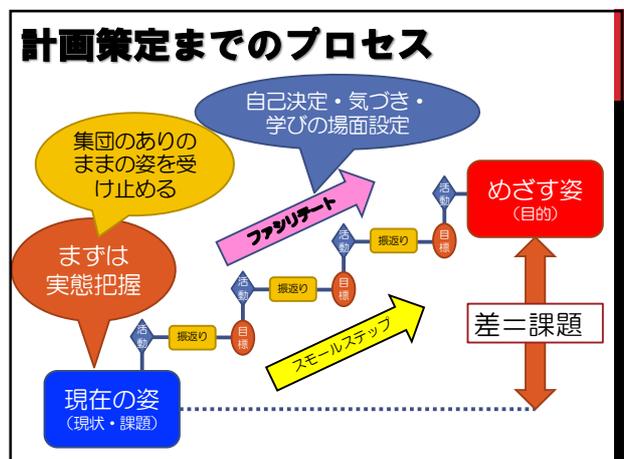
15



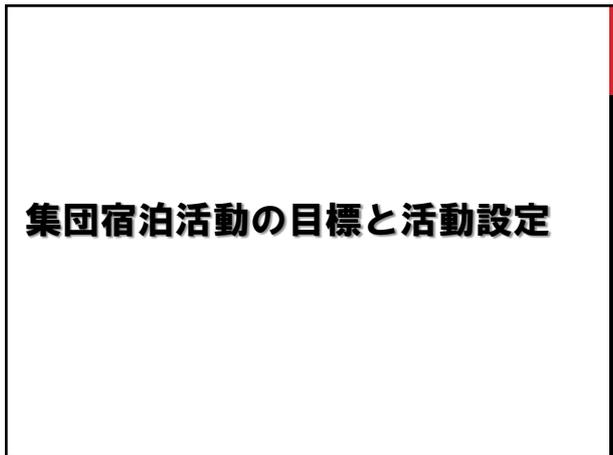
16



17



18



19

グループワーク

次の状況にある5年生の集団宿泊活動を実施するとします。今回は、「体験学習法」を取り入れた集団宿泊活動を計画したいと思います。各グループで①「めざす姿(目的)」、それを踏まえた各活動の②「目標」、③「活動内容」を考え、ワークシート(模造紙)にまとめ、発表してください。

【状況】○小学校5年生(2学級) ○実施は7月 2泊3日

	A小学校	B小学校	C小学校
各校の主な状況	<ul style="list-style-type: none"> 元気がよく、積極的に活動できる 自分の考えをしっかりと表現する雰囲気がある 自己主張が強い児童が多い 仲間の意見を受け入れにくい面がある 	<ul style="list-style-type: none"> 困っている子に対し声をかけて支援しあうことができる 柔らかな雰囲気があり優しい言動が多い 自分の考えを伝えることが弱く、発表も少ない 主体性が弱く、指示を待つことが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 皆でまとまって活動できる 周りへの気遣いができる子が多い 声の大きい方に引っ張られてしまうことが多い 納得していなくても周りに合わせてしまうことが多い

20

集団宿泊活動における具体的な指導について～「気づき」から「学び」へ～【グループワーク】 2022.10.31

グループ名: _____

めざす姿: ①「めざす姿(目的)」

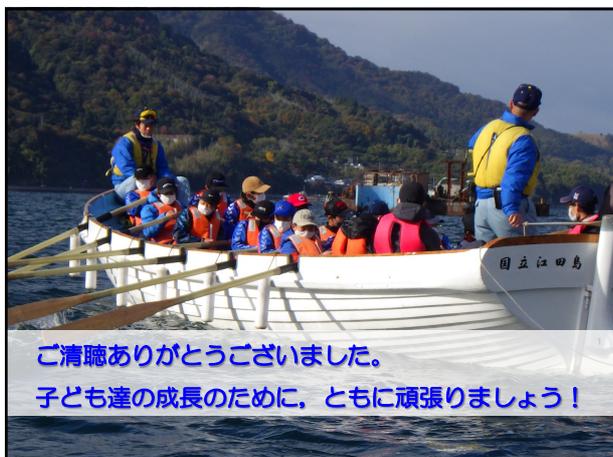
区分	時間	6:20-7:20	7:20-8:40	8:40-9:00	9:00-12:00 (午前の活動)	12:00-13:00	13:00-16:30 (午後の活動)	16:40-18:40	19:00-21:00 (夜の活動)	21:00-21:55	22:00-
1日目	内容				<入所> 11:00 施設到着 11:00 入所式 オリエンテーション 11:30 荷物準備 等	洗濯・休憩	②「目標」 ③「活動内容」	クッキングのつどい	②「目標」 ③「活動内容」	入浴準備 浴準備	消灯・就寝
2日目	起床のつどい	朝食	朝食	活動準備	②「目標」 ③「活動内容」	洗濯・休憩	②「目標」 ③「活動内容」	クッキングのつどい	②「目標」 ③「活動内容」	入浴準備 浴準備	消灯・就寝
3日目	起床のつどい	朝食	朝食	活動準備 退所準備	②「目標」 ③「活動内容」	<退所> 13:30 退所式 13:45 退所					

21

「気づき」を「学び」へつなげる 体験活動を仕組むためのポイント

- ① 児童自らが目標設置を行う(自己決定)
- ② 対等(フェア)な関係を作るために、また、一人ひとりが当事者意識を持てるためのルール・課題設定を行う
- ③ 活動中に得た「気づき」を語り合う、活動後の振り返り時間を確保する
- ④ 振り返りで得た「学び」を次に活かせる場面をつくる
- ⑤ 指導者間で事前に“指導観”の共有を行う
- ⑥ 指導者が「ファシリテーター」となる

22



23